一般社団法人地盤品質判定士会

神奈川支部
第五回総会

議案書

令和3年（2021年）4月18日

第一号議案

・2020年度事業報告・会計報告

2020（R2）年度事業報告
＜総括＞

＜年度方針＞

- 新中期計画の初年度として、継続の事業を進展させ、新たな事業に積極的に取り組む
- 改組した委員会活動を軌道にのせる
  - 行政との連携・共創を深め、協定締結の準備を進める
  - 関連する業界団体・市民団体等の開拓と交流
  - 市民からの相談の積極的受入れのための環境整備
  - 相談・受託の対応力強化へ向けた各種資料整備
  - 会員の資質向上のための多様な研修会，意見交換会の開催
  - サポーターを活用したイベント・研修・案件への対応

【一社）地盤品質判定士会本部・支部対応】

- 法人化に伴う本部の諸課題への協調、要請への協力
- 支部・部会との相互協力、緊急時・災害時の支援

＜主な実施事項＞

- 法人化を契機に県・主要市との連携が一段と深まった
  - 横浜市・逗子市・川崎市の3市との宅地防災に関する技術協定を締結
  - 県及び4市（相模原市・横浜市・川崎市・逗子市）とHP相互リンクを設置
- 市民からの相談案件が大幅に増加した
  - 協定締結の効果もあり市民相談案件が下期に急増した（年度合計52件）
  - 登録相談員は増えたが、公募への応募が少なく今後の課題
- 研修会を4回（延べ8回）開催した
  - 多様な研修会，意見交換会を開催
  - NPOブルーアースとの共催で5回シリーズのセミナーを開催
- 関連諸団体との連携、支部会費制導入は未達
  - 次年度以降の重要課題として引き継ぐ

【地盤品質判定士会本部との連携】

- 判定士会と3市との間で締結した協定の窓口は神奈川支部が担当
- 相談員登録制度の全国展開へ向け本部での制定作業に全面的に協力
  - 本部主催相談員研修会への講師派遣

【総務委員会】2020年度事業報告(I)

□【達成】平時の防災・災害時の支援（協定）

■ 『3市協定締結』

- 2020年10月26日　横浜市『災害に強い安全なまちづくりに関わる』 協定を締結
- 2021年 3月11日　逗子市『宅地防災等に関わる』 協定を締結
- 2021年 3月18日　川崎市『宅地防災等に関わる』 協定を締結

■ 『 県及び4市ホームページ相互リンク』宅地の地盤相談

- 神奈川県：県土整備局 建築住宅部建築指導課
- 相模原市：都市建設局まちづくり推進部開発調整課
- 横浜市：建築局企画部建築防災課
- 川崎市：まちづくり局指導部宅地企画指導課宅地防災担当
- 逗子市：環境都市部都市整備課都市整備係

□【一部達成】自治体・市民団体との協働

- 2021年3月9日　逗子部会活動　逗子市要請　崖点検　同行・今後市の計画をサポート
- 平塚の市民団体と連携、ケーブルTVの防災番組「地震！その時あなたは」に出演（立花支部長）

【総務委員会】2020年度事業報告(2)

□【未達成】関連団体開拓の具体化

- 未達の理由：関連諸団体へｱﾌﾟﾛｰﾁ方法の協議実施まで→協定締結を優先。
- 横浜市建築士事務所協会と意見交換会を実施（横浜市の紹介）。

□【達成】相談マニュアルの整備

- 相談員研修会の実施：神奈川支部（技術委員会）・本部との連携　各1回実施
- 自治体向け及び市民向けリーフレット『住宅地盤相談の流れ』を改訂　2020年9月
- 『地盤相談マニュアル（案）Ver.1.0』を整備、2020年12月より試行を開始

□【未達成】見積り・価格・業者紹介先

- 市民相談　宅地の地盤相談に関わる見積フォーム・価格設定の決定
- 未達の理由：設計施工会社の斡旋体制構築に向けて会員情報収集、リスト化→協定締結を優先。

□【未達成】支部会費制の導入（再検討）

- 本部での動きにあわせ、支部幹事での検討保留

【技術委員会】2020年度事業報告(1)

- 【達成】多様な研修会，意見交換会の開催 → 合計8回の研修会、情報交換会を実施
- 第1回（2020年7月30日）参加者27名　講演会　講演者：立花秀夫氏、門田浩一氏
- 第2回研修会（2020年8月19日）参加者20名

  「支部相談員研修」 講師：立花秀夫氏，福田靖浩氏，中村裕昭氏
- 第3回～第7回研修会（2020年10月～11月）　NPOブルーアースと共同主催、参加者延べ149名

  エナジーエコロジー ・防災 セミナー（第 17 回）

  「地球環境変化と 地盤防災・減災を横浜から考える 」（5回シリーズ）

  第1回（第3回）10月15日「地球環境変化が地盤災害に与える影響 を考える」

  安原一哉茨城大名誉教授ご講演 「地球環境変化と地盤防災・減災を地域から考える」ほか

  第2回（第4回）10月22日「横浜市内の崖地を見て，対策 を学ぶ」

  第3回（第5回）10月29日「災害を実感し，防災・減災を考える」

  第4回（第6回）11月5日「防災対策の研究最前線を知る」

  第5回（第7回）11月12日「地球環境と災害に向き合う」
- 第8回（2020年12月11日）　登録相談員向け研修会・意見交換会

  横浜市，横浜市建築士事務所協会と合同、計15名程度

【技術委員会】2020年度事業報告(2)

- **【一部達成】既存技術資料，支部相談事例の収集**

・ 支部相談事例の収集：書式「宅地地盤相談票」による（全相談案件を対象）

・ 「よこはま宣言」の検討

横浜における活動の成果を神奈川県、日本に拡げ、さらに、アジア、世界と連携して、地盤災害を防止し被害を削減することを目指して、具体的な行動を示した「よこはま宣言」を検討（本日公表）

- **【達成】共創に向けた意見交換の実施**

・ 横浜市建築局との意見交換

・第8回研修会（ 2020年12月11日） ※前出参照

・横浜市宅地耐震化推進事業に関わる自助・共助の支援策意見交換会（2021年2月5日）

・ 産業技術総合研究所地質調査総合センター（地質調査部門）との意見交換（2020年12月23日）

- **【未達、準備中】他支部（関西支部等）との意見交換の実施**

・ 未達の理由： 神奈川支部における相談案件急増、並びに支部間調整の都合により

2020年度 会計報告

項目	科目	予算		決算		記事
		収入	支出	収入	支出	
収入	前期繰越金	153,553		153,553		
	賛助金	40,000		0		
	紹介料	50,000		21,257		相談・委託経費に係る事務手数料※
	研修会等	60,000		126,000		参加費：研修会(7/30)・相談員研修会（8/19）
	小計	150,000		147,257		
	その他			181,910		本部預り金（セミナー展示・相模原市民相談）
	合計	303,553		482,720		
支出	会議費		20,000		0	リモート（Zoom）開催により支出ナシ
	総務委運営費		50,000		5,300	チラシ
	技術委運営費		40,000		108,919	研修会［7/30, 8/19］
	事務局委託費		20,000		22,000	
	雑費		20,000		2,390	
	小計		150,000		138,609	
	次期繰越金		153,553		344,111	

※市民相談〔有償14件〕：事務手数料10%を本部と支部で折半

第二号議案

・支部規則改定・監事選任/役員一部交代

支部規則改定（案）/主な変更点

法人化に伴う名称変更と組織構成の明記

・地盤品質判定士会神奈川支部⇒
一般社団法人地盤品質判定士会神奈川支部

・判定士会の下部組織として位置付け、支部会員を定義

総会及び幹事会の条文の追加

・総会の議決事項と議決要件の明確化：委任状を含め会員の1/2以上の出席で成立し、決議は出席者の過半数の賛成で成立

・幹事会の構成及び役割の記述

決算の義務化と会計監査の導入

・会計報告を会計監査と総会の承認事項とする

・監事を設け会計及び業務執行状況を監査する

※詳細は別紙、支部規則改定（案）【新旧対比】を参照

監事選任／役員一部交代

部門	役職	氏名	記事
支部長		立花　秀夫	
副支部長		高橋　一紀	
事務局	事務局長	細倉　摂央	兼・総務委
		大久保　拓郎	
総務委員会	委員長	福田　靖浩	
		大串　豊	
技術委員会	委員長	山田　岳峰	
		小倉　章	
		岸田　隆夫	
		西村　真二	【新任】
		野島　立也	
監事		酒井　健	【新規設置】
サポーター		片山　浩明・小浪　岳治・酒井　健・福元　俊一	
		【新任】伊東　広敏（前幹事）・鈴木　考生	

（敬称略）

第三号議案

・2021年度事業計画・予算

2021（R3）年度事業計画
＜方針＞

- 自治体との協定締結をバネに、継続の事業を進展させるとともに、新たな事業にも積極的に取り組む
- 増加する市民相談への対応を強化する
  - 市民からの相談窓口の改善、対応方法の効率化を図る
  - 登録相談員の増員および相談員の対応力の強化へ向けた環境の整備
- 委員会活動をさらに活発化する
  - 行政との連携を深め、協定を他の自治体へ展開
  - 市民団体との連携を深めるとともに、関連する業界団体等を開拓
  - 会員の資質向上のための多様な研修会、意見交換会を開催
  - サポーターを増員し、イベント・研修会の対応力を向上

【一社）地盤品質判定士会本部・他支部との連携・協働対応】

- 本部並びに他支部・部会との相互協力、緊急時・災害時の支援

【総務委員会】 2021年度計画（案）

□平時の防災・災害時の支援（協定へ向けて）

- 自治体への広報、訪問活動の継続：活動実績などのPR
- 技術支援協定締結、他自治体への展開：意見交換会、活動実績の収集、HP相互ﾘﾝｸ

□自治体・市民団体との協働

- 市民相談会の拡大継続：川崎市の継続、他自治体への展開
- 逗子部会の活動（逗子市，県）支援

□関連団体開拓の具体化

- 関連諸団体へのアプローチ方法を協議、活動開始

□相談マニュアルの整備

- 相談員研修会の継続と全国展開：技術委・本部との連携、研修資料見直し、マニュアル改訂

□業者紹介先のリスト化

- 調査・設計・施工会社の斡旋体制構築に向けて会員情報収集・リスト化

□支部活動の強化

- 支部会員・登録相談員・委員会メンバーの増員活動の実施

【技術委員会】2021年度計画（案）

□【継続】多様な研修会，意見交換会の開催

- 【継続企画】総会後の懇談会における講演（安原一哉茨城大名誉教授）（4月18日）
  「気候変動と地盤災害に関する『ワガコト化』」
- 【継続企画】野外巡検（神奈川県城ヶ島）（2021年5月29日予定）
- 【新企画】支部登録相談員ブラッシュアップ研修会（7月頃）
- 【継続企画】講演会（9月頃）
- 【新規企画】市民向けセミナー（11月頃）

□【継続】既存技術資料，支部相談事例の収集

- 技術ハンドブックの編集（2021年度～2022年度）

□【継続】共創に向けた意見交換の実施

- 横浜市建築局との意見交換
  【継続】横浜市宅地耐震化推進事業に関わる自助・共助の支援策意見交換会
  【新規】第5回斜面防災世界フォーラム（2021年11月、京都）
  ・横浜市と合同で地盤災害の低減に向けた地域連携をプレゼン
- NPOブルーアースとの連携
  【新規】オープンサロンへの講師派遣（小倉幹事『神奈川県周辺の地形・地質と災害』、2021年5月）
  【新規】KISTEC（神奈川県立産業技術研究所）なるほど！体験出前授業への講師派遣
  （岸田幹事『砂の液状化を知り安全な避難を考える』，小倉幹事『この砂なんでここにあるの？』）

□【継続】他支部（関西支部等）との意見交換の実施

2021年度予算（案）

項目	科目	予算(案)		前年度決算		記事
		収入	支出	収入	支出	
収入	前期繰越金	344,111		335,463		繰越金(本部預り金含む)
	賛助金	0		0		寄付金、会費代替
	紹介料	19,500		21,257		相談・委託経費※
	研修会等	260,000		126,000		参加費
	小計	279,500		147,257		
	合計	623,611		482,720		
支出	会議費		20,000		0	総会・幹事会
	総務委運営費		20,000		5,300	
	技術委運営費		216,000		108,919	
	事務局委託費		22,000		22,000	
	雑費		10,000		2,390	
	小計		288,000		138,609	
	次期繰越金		335,611		344,111	

※市民相談：有償20件程度の事務手数料10%の1/2を見込む